
柚子の薫り

yatenyue

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

柚子の薫り

【Nコード】

N0419Z

【作者名】

y a t e n y u e

【あらすじ】

学園から戻らない、妹蜜柑を心配して訪れるのは双子の兄の柚だった。

蛭同様妹に対する態度は、まああれだが、妹を溺愛する彼が何を引き起こすのか？

サイトの夢小説からの転載

ブローグ 怒りの叫び

「っ 柚、柚やあゝ」

ドタバタと騒がしい音とともにがたと襖が開かれる

「…ふあ…まだ遅刻する時間じゃないよ。」

じいちゃん

蜜柑起こしてたんじゃないの？」

眠たそうに話す少年・柚。

「蜜柑が…みかんが、

わしのへそくりもって出ていきおった…。」

そして差し出す妹^{ミカン}の手紙

それを読んだ瞬間　グシャツと少年いや柚は握りしめた。

そして、

「やってくれたな　あのバカ娘（黒）

じーちゃん　悪いけど俺も行くよ

あのバカ娘だけじゃ不安だし

それでも、兄だからね。

しっかりまもってやんよ（あーあー。せつかく螢に言われて黙ってたのに

見つかりにくいアリスだからって）」

ちゃんと、取り次ぎもしなかった妹と違い、

近所や学校へのあいさつ、手続きをし、旅立つのだった。

（しーちゃんが手紙を渡そうとしたけど、書くの遅いしいつになるかわからないし

ってことでさっさと旅立ったのであった）

「さつて・・・」

どうやって入れてもらうかな？

門を壊してもいいけど、後々教師がうるさいしね」

妹とは違い頭が回ったこと考える少年が1人。

アリス学園前で立っていた。

門に必要以上に近づかないため門番たちも扱いかねているようだ。

「何をしている？」

そこにきたのは不審者の通報で見回りをしていた神野先生であった。

「はい??」

神野先生の方をむく柚。

「貴様は行…いや違うな。」

お前名前は？」

「（ニッコリ）

知らない人に話す名前はありません

――といいたいところですが、ここら辺を漁る詐欺師のように
は見えませんか」

・・

もしかして、ココの教師ですか？」

「・・・あ ああ」

あの人 にそっくりの顔で理論的な話し方がでたので困惑したよう
だ。

「はじめまして、佐倉 柚です。

妹がお世話になっています。

すみません 馬鹿で」

あの人 とは違う思慮深さ

それはなんだかんだいって あの人と気に入る

その視を悔やんだー神野先生が

あの人に 持っていてほしかった一面であつた……………

しかしその瞳は あの人同様輝いていた。

亡き父同様に……………

だが、それとこれとは別だ。

「何の用だ。

妹には会えんぞ」

「…蛍から聞いて隠していましたが、

僕もアリスです。

本当は隠し続けるつもりでした。

けど、妹はやっぱり守らないとでしょう。」

まさしく父と母の「家族」の夢を体現したような兄弟愛だった。

「…（運命は止められぬ…か）」

お前の持っているというアリスは？」

「瞬間移動と、妹と同じ無効化、
テレポート ミカン

そして、錬金術です。」

テレポート以外珍しいアリス

間違いないく、少年の先は妹と同じく波乱に満ちているだろう

ブログ 怒りの叫び（後書き）

懲りずにまたかですが、始めました

彼は、言うなら頭がいい版の泉水です。

更新は激遅ですが、気長に待ってください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0419z/>

柚子の薫り

2011年12月1日18時52分発行